

第7回スポ天チーム対抗ゴルフ大会

ゴルフクイズ質問と回答

- ① 後ろの組が来ていなかったなので、ホールアウト後にグリーンでパット練習をしても問題ない

答え○

ゼネラルルールでは認められていますが、協議会のローカルルールや、ゴルフ場の委員会のルールでは禁止されていることがほとんどです。

- ② 15本のクラブを持ってラウンドした場合、各ホール2打罰が課せられる

答え○

14本を超えるクラブを持ってラウンドすると2打罰。

- ③ 15本のクラブを持って18Hラウンドした場合、36打罰が課せられる

答え×

クラブ超過の罰は最高4打罰まで。気付いた時点で超過クラブの除外手続きを行わなかった場合、競技失格。

- ④ 見失ったボールを捜索する時間は、5分以内である

答え×

3分の捜索時間が過ぎた時点で、その球は紛失球となる。もし3分の捜索時間を過ぎて球が見つかりその球を打った場合、2罰打。この場合、規則に基づいて救済を受けることにより誤りを訂正しなければなりません。そのままその誤球でホールアウトした場合、次のホールのティーショットを打つ前に訂正しない限り、競技失格。

⑤ **ドロップの際に、膝より高い位置からドロップし、救済エリア内にドロップしたボールを打った場合、罰則はない**

答え×

ドロップは膝の高さからが規定。間違えた高さでドロップしてプレーした場合1打罰。
間違えた高さからドロップしたことをプレーする前に気づいた場合、正しい方法でドロップをやり直し、誤りを訂正した場合は、無罰

⑥ **OB杭がショットの邪魔になりそうなので抜いた後に禁止ルールを思い出したので、もとに戻してショットを打った場合、無罰**

答え○

OB杭は境界物に該当します。境界物を動かす等の行動は認められていませんが、違反して改善した状態を復元すること、例えば取り除いた境界物を元に戻すことで罰を逃れます。

⑦ **ティーを忘れたのでペットボトルのキャップにボールを乗せてティーショットをしても認められる**

答え○

ティー用具規則に適合するものは問題ない。
ティーとは球を地面から高く置くためにデザインされた機器である。
ティーは下記のようなものであってはならない。

- ・4インチ（101.6ミリメートル）を超えるもの。
- ・プレーの線を示すことができるようにデザイン、製造されているもの。
- ・球の動きに不当に影響を与えるもの。
- ・その他、ストロークをしたりプレーする上でプレーヤーの援助となるもの。